



赤小だより

6月号
令和2年6月1日
北区立赤羽小学校

<笑顔あふれる学校～にこにこ ぴんぴん 自ら進んで～>

学校が始まります

校長 石塚 博

子供たちがようやく戻ってきました。長い休業中、保護者の皆様には、深いご理解とご協力を賜りました。ご負担もさぞや大きかったことと存じております。本当にありがとうございました。

先日の登校日、久しぶりに正門で、子供たちを迎えました。中には、心なしか緊張した表情もみられましたが、挨拶を元気に交わせたことをとてもうれしく思いました。スタートダッシュしたい思いを抑えながら、先ずはじっくりと、徐行運転の心構えで進んでまいります。何より大切にすべき第一は、子供をよく観察する、子供の話にしっかりと耳を傾ける、子供に安心感をもたせる言葉かけをすることだと考えています。少しでも不安がある時には、遠慮なく教員に伝えるよう、お子様に促していただければ、ありがたいです。

さて、休業中、あれこれ考える中、ふと、小学生の頃を思い出しました。私が住んでいたふた棟続きのアパートには1年生から6年生までの子供たちがいました。学校から帰ると、お決まりのように皆が集い、遊びが始まりました。群れて過ごす中で、たくさんのことを学びました。けんかがあっても、上級生が仲裁に入りながら仲直りをしたこと、遊びの順番など皆で約束を決め守ったこと、小さな子供には、誰もが声をかけ優しく接してあげたこと等、大人からの教えを待つことなく、子供たちは、関わり合いを通し、人が人として生きていく社会性を、自然と身に付けていったように記憶しています。

時代が変わっても、学校は、集団で生活を営む中にたくさんの意義や価値があることを、今一度しかと心に止め、教育活動を創造していきたいと思いました。仲間と一緒に汗を流し活動する楽しさ、互いのよさを認め合う喜び、難しい問題を、意見を交流し合い解決する成就感等、一つでも多く、子供たちに体得させることができたらと、願っているところです。分散登校に代表されるように、学習活動に制約を受けることが少なくないのが現状ですが、一日も早く伸び伸びと活動できる日が訪れてほしい、心からの願いです。

終わりに、5月26日付けで本校ホームページに掲載させていただいた、「教育活動の再開について」のお知らせに記しましたが、感染及び感染拡大防止につきまして、学校としても意を注いでまいります。検温及び体調確認、マスク着用等について、保護者の皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

6月の予定

1日(月) ～12日(金)	A3時程 分散登校	22日(月)	委員会 発育測定(5・6年、4組)
		23日(火)	腎臓検診(尿検査) 全学年回収日 発育測定(1・2年) 内科健診(3・4年)
15日(月)	A5時程 安全指導日	24日(水)	腎臓検診(尿検査) 予備日 A4時程 発育測定(3・4年)
16日(火)	交通安全教室(1・2年)		
17日(水)	B5時程 避難訓練	25日(木)	心臓検診(1・4年) マーチング
18日(木)	マーチング	29日(月)	A5時程 視力(6年)
19日(金)	内科健診(5・6年)	30日(火)	A4時程 視力(5年)
20日(土)	D3時程 (公開なし)	★水泳指導(授業・夏季休業日)は、中止になる見通し	
7月の予定 4日(土) 保護者会 8日(水) PTA 常置委員会・PTA 総会 7月中に離任式を予定 			
☆スクールカウンセラー来校日 ☆中川SC 4、11、18、25日 ☆篠村SC 5、12、19、26日			



新型コロナウイルスについて、連日、メディアでたくさんの情報が流れています。また、学校の臨時休業が長期化し、外出が制限される等の日常の変化で、子供にとっても大人にとっても大きなストレスが加わりました。子供のストレス反応は、イライラする、けんかが増える、元気がない、甘える、頭痛、腹痛、おねしょ等いろいろな形で現れます。そのような時、子供は大人の愛情と、目を向けられることを必要としています。気になる様子が見られたら、まずは子供の訴えを受け止めて優しく話しかけ、安心させてください。

また、保護者ご自身が心身ともに安定していることも大切です。子供は周りの大人の反応を見て状況を判断します。大人が落ち着いていれば、子供も安心し、落ち着きます。学校が再開しても、「新しい生活様式」が求められ、新たなストレスが生まれるかもしれません。規則正しい生活や、運動、親子のコミュニケーション等で、ストレスと上手に付き合っていきましょう。【養護教諭 堀 千春】

新学期スタートにむけて

わたしは新年度がスタートしたら、今まで通りふつうに学校生活を送りたいです。特に、1年生のお世話ができていないので、がんばりたいです。授業では図工が楽しみです。今までやったことがないかき方で絵をかいたり、使ったことのない道具を使って立体作品を作ったりしてみたいです。新学期も元気にがんばりたいです。

【6年1組 水本 遥】

いよいよ本格的に新年度が始まります。学年が一つ上がり、新1年生はもちろんのこと、新しい担任の先生になったり、新しい教科が始まったりするのを楽しみにしていた子も多いのではないのでしょうか。特に6年生は、小学校最後の1年間です。たくさんの思い出を作ってほしいです。

休業期間、赤羽小の職員も子供たちと過ごす毎日を心待ちにしていました。例年通りにはいかないこともあるとは思いますが、まずは子供たちが安心して、楽しく学校生活を送れるように尽力していきます。今年度もよろしくお願ひいたします。

【1組担任 柴田 凌】

ついに学校生活が再開しました。これは、みなさんが感染予防に努めた結果です。

百年前にも感染症が流行した時期がありました。ある都市では、集会を禁止することで感染者を減らしました。しかし、徐々に感染者が減ってきたことにより、人々が安心して集会を再開すると、再び感染者が増えてしまいました。

このことを教訓に、学校再開後も感染予防に努めましょう。

【6年2組 衣笠 綾乃】

新しい年度が始まって2か月が経ちました。久しぶりに会う友達に、心が弾む子供たちも多いのではないのでしょうか。1年生は小学校生活のスタートですね。今年は、例年とは違う部分が多くありますが、子供たちにとっては大切な1年間。できることを模索しつつ、子供たちとともに成長していきたいと思います。

6年生は、小学校生活最後の1年です。下学年のよきリーダーとして、今まで学んできた力を十分に発揮してほしいと思っています。よろしくお願ひいたします。

【2組担任 三浦 潤】

6年生になり、学校生活最後の1年がはじまりました。ぼくは、学習面で、国語と体育をがんばりたいです。生活面では、6年生として、1年生のお世話や下級生のお世話、マーチング、クラブ、委員会をがんばりたいです。赤羽小での最後の1年間を最高の1年間にするために、友達と仲良く、たくさんの思い出を残していきたいです。そして、立派な中学生になるためにもがんばって行きたいと思っています。

【6年4組 根岸虎輝】

ようやく緊急事態宣言が解除になり、6月から新年度が始まります。

子供たちのこれからの学校生活を、一日一日大事に、よりよいものにしていくために、職員一同、尽力していきたいと思っています。

また、6年生は学校生活最後の1年間でもあります。残りの学校生活を精一杯楽しんで、たくさんの思い出を残して行ってほしいと思います。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

【4組担任 友野 龍樹】